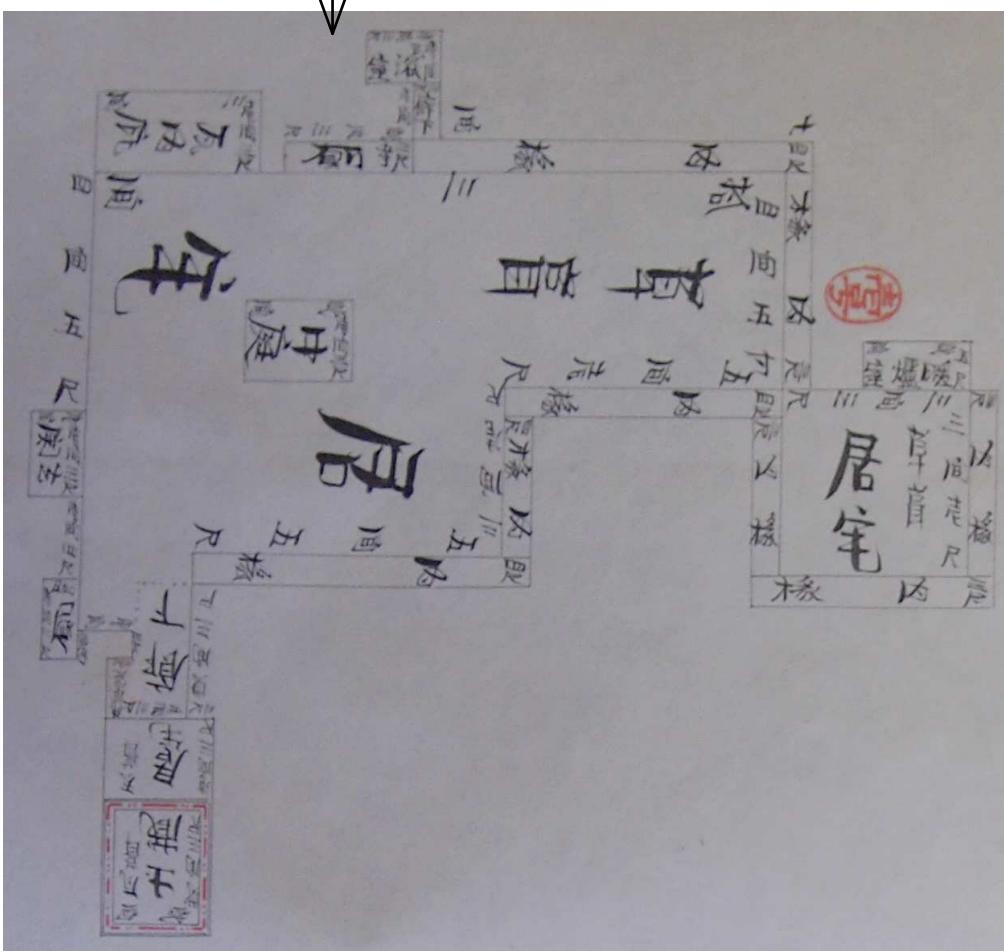
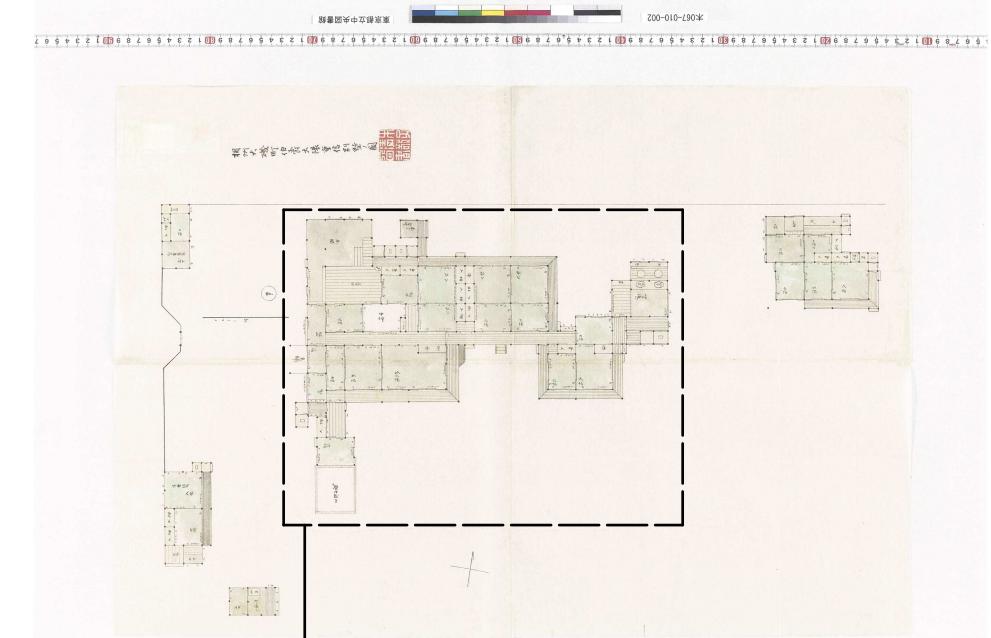


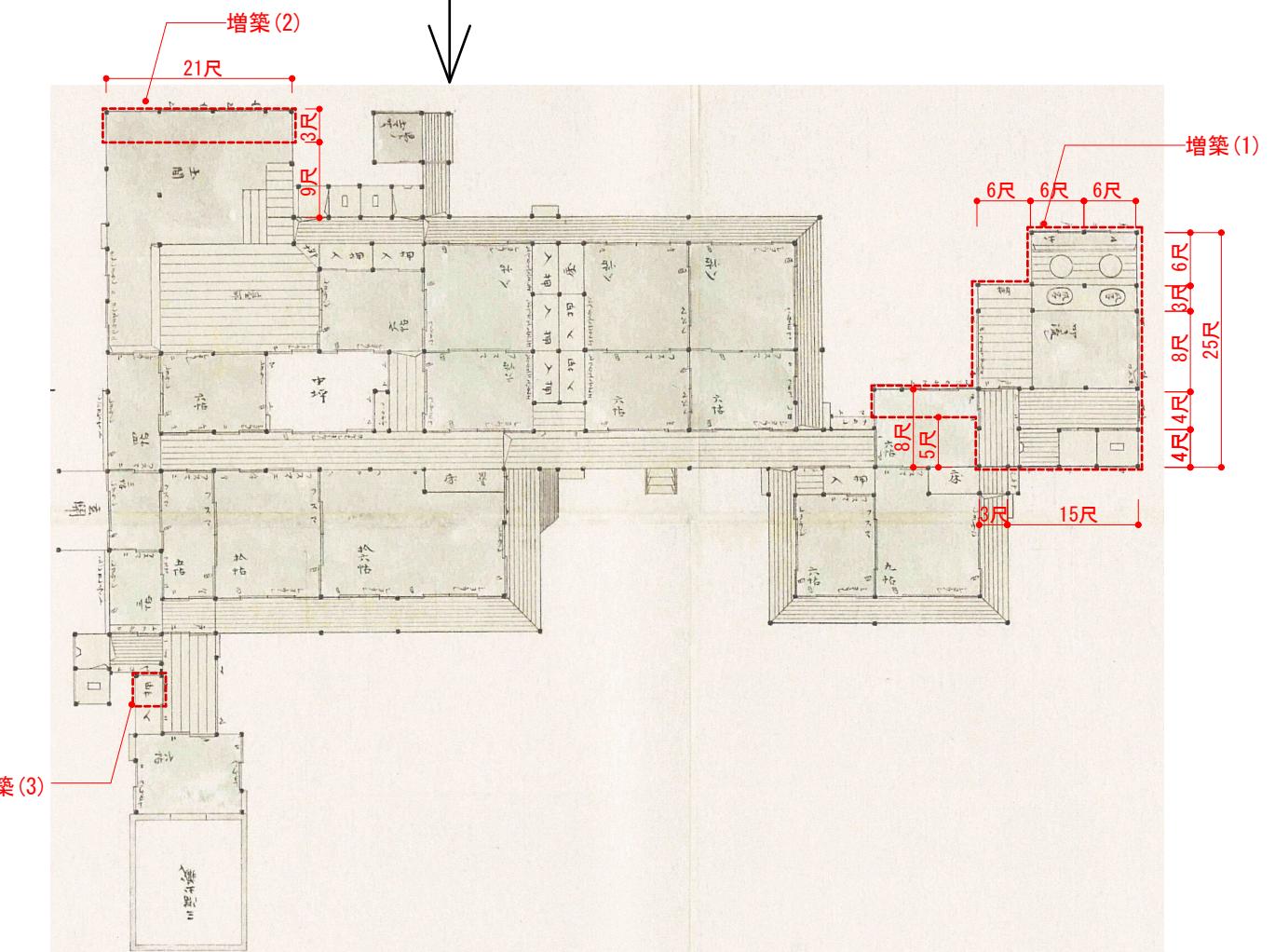
A 家屋台帳掲載「家屋位置及方位」図（変遷表では家屋図と記載）  
作図年：明治30年代初頭と推定  
[大磯町所蔵で家屋台帳と称される旧大磯町行政資料]



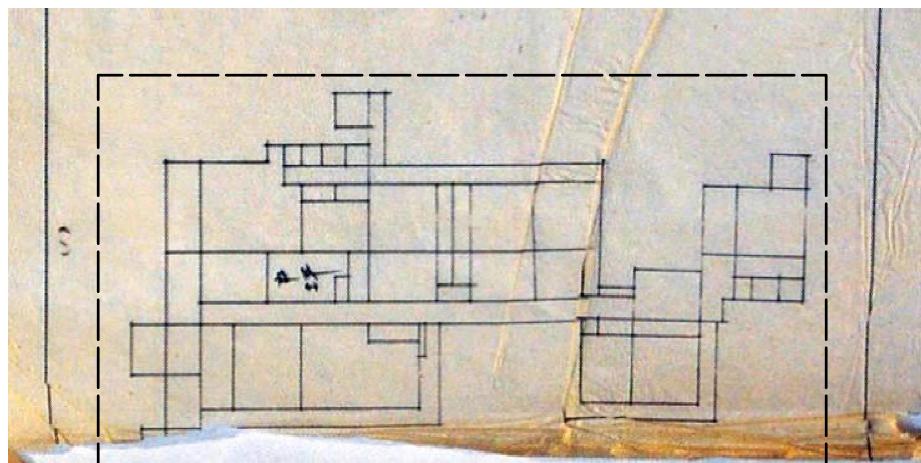
家屋図Aの主屋範囲拡大、北を上にして掲載  
(赤：追記)



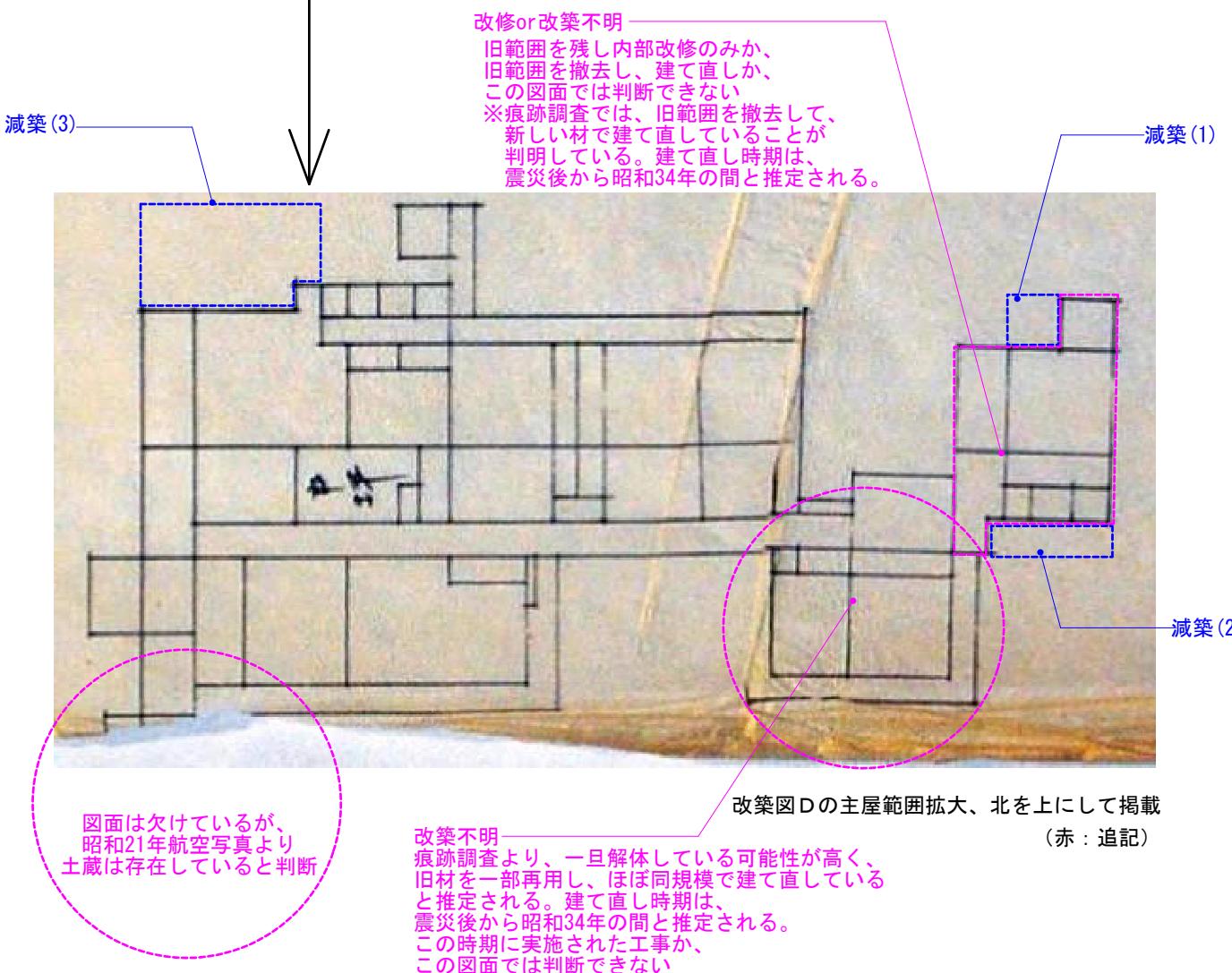
B 「相州大磯町伯爵大隈重信別墅ノ図」（変遷表では木子文庫図と記載）  
作図年：明治30(1897)年から同34(1901)年と推定  
[東京都立中央図書館木子文庫所蔵]



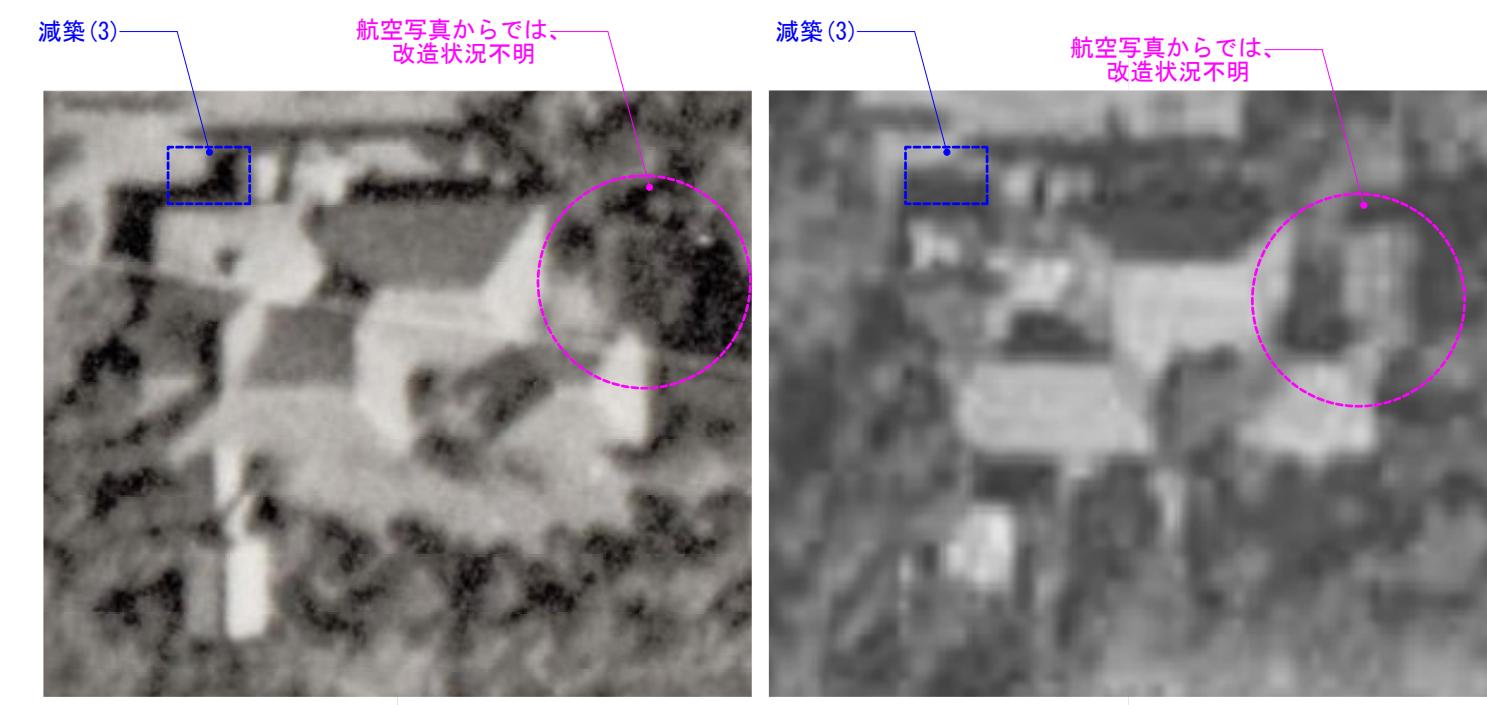
木子文庫図Bの主屋範囲拡大、北を上にして掲載  
(赤：追記、寸法は図面分析による推定寸法)



D 古河虎之助改築届間取概略図（変遷表では改築図と記載）  
届出年：昭和5年5月2日  
[大磯町所蔵で昭和5年4月1日付届出から  
同6年3月31日届出までを継る旧大磯町行政資料]



C 縁の建具形状より神代の間の棟を南西より撮影した写真と推定  
(後列右古河虎之助夫妻、前列左から二人目従純)  
[古河従純君伝(1971)古河従純君伝記編纂]  
⇒従純を5才程度と想定した場合、撮影時期は明治42年前後

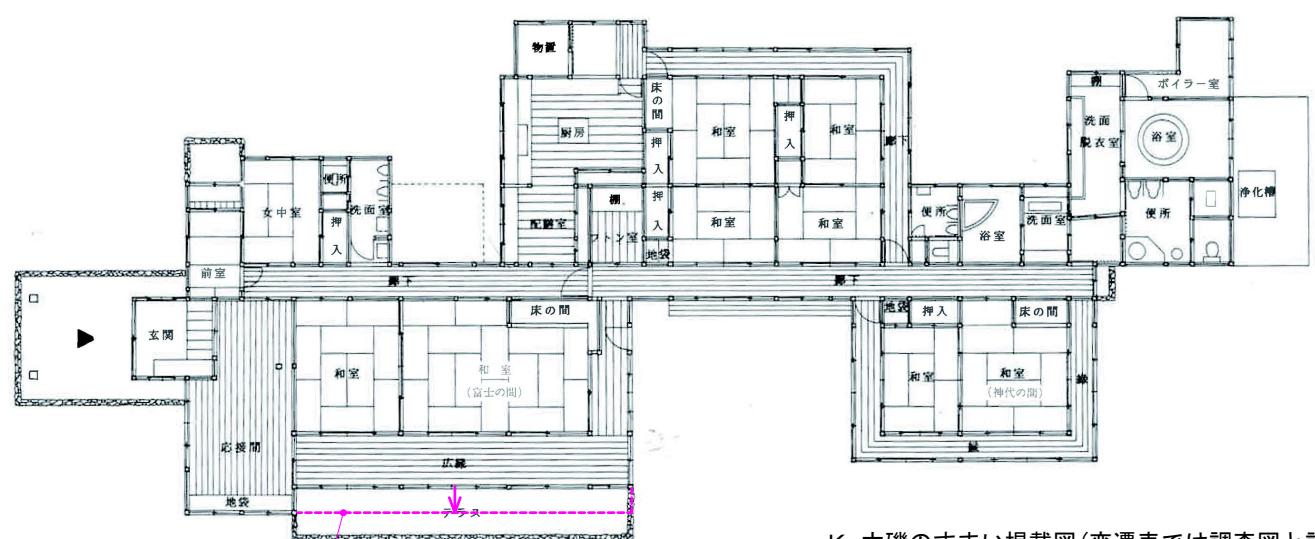
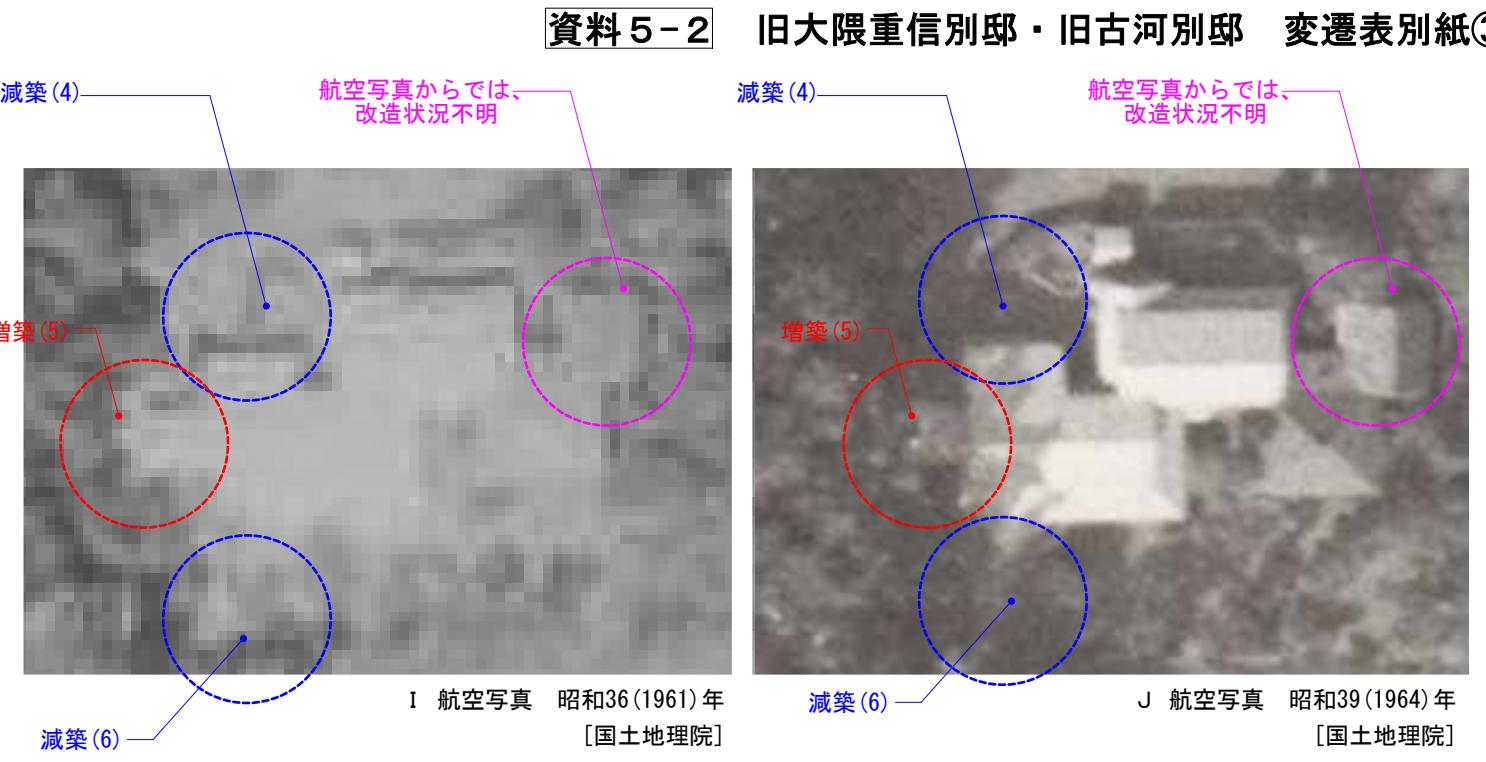
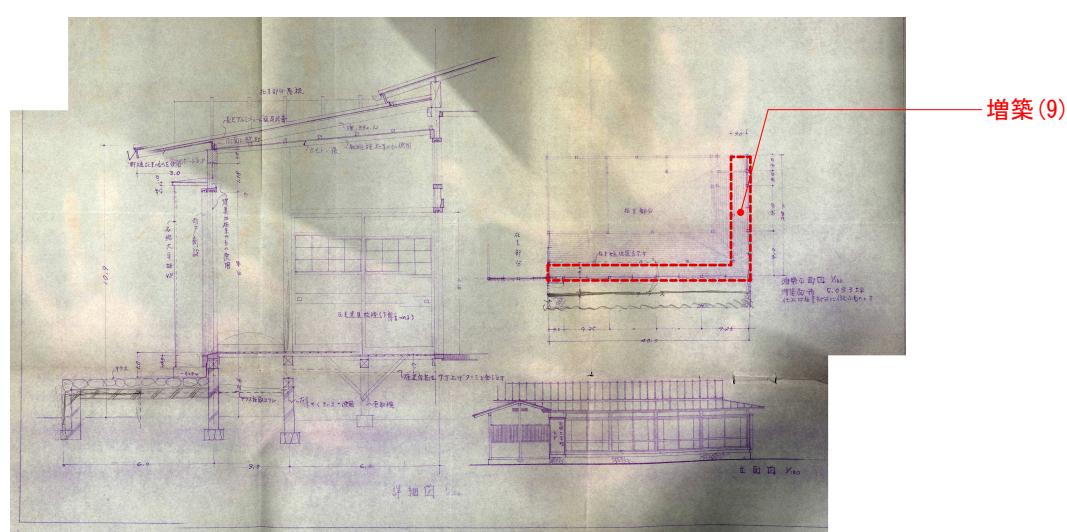
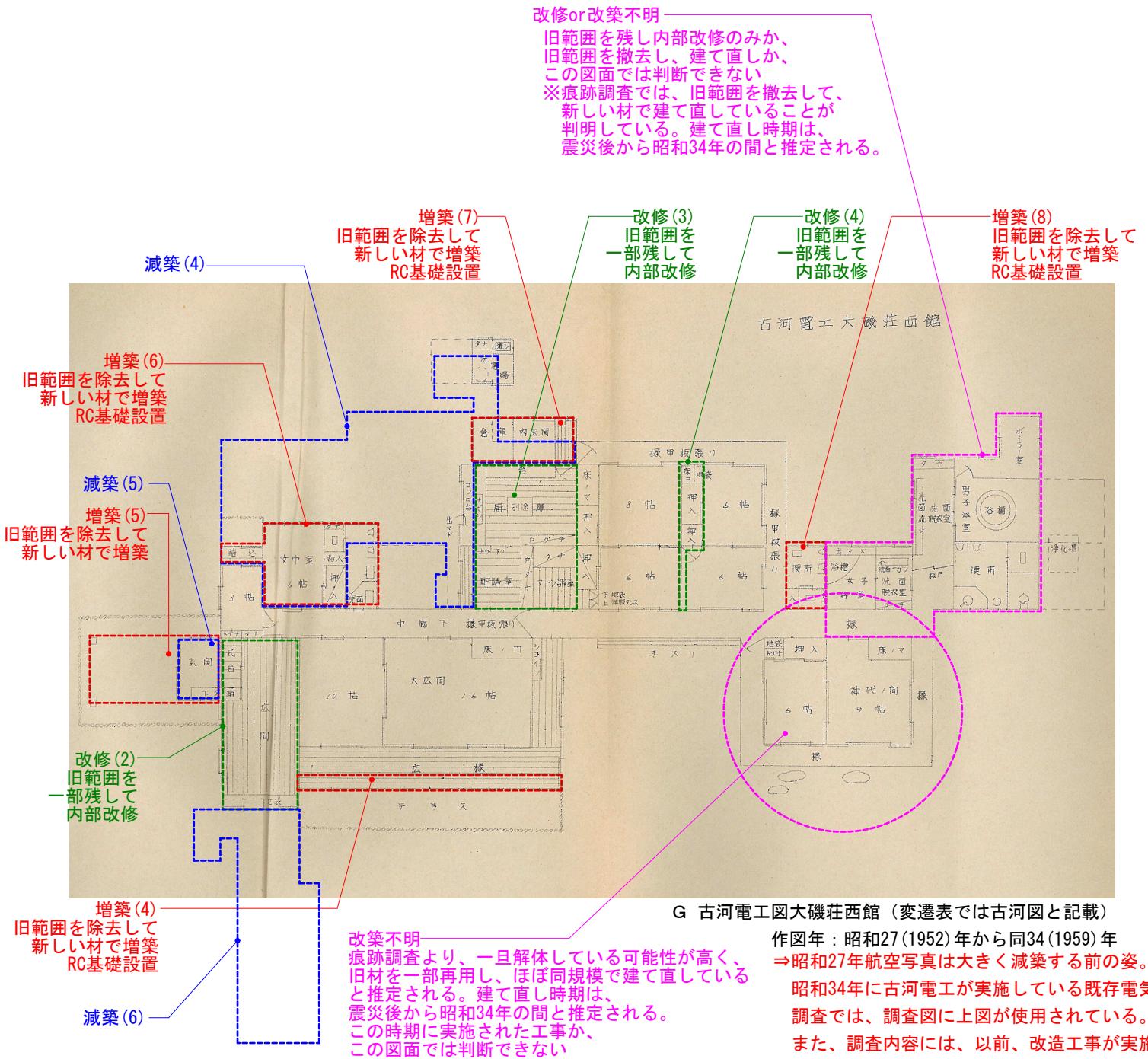


E 航空写真 昭和21(1946)年  
[国土地理院]

F 航空写真 昭和27(1952)年  
[国土地理院]

内縁一体の茅葺屋根である  
可能性が高い

## 資料 5-2 旧大隈重信別邸・旧古河別邸 変遷表別紙③



縁の拡幅  
大磯の住まい掲載写真より  
H4年には既に縁が拡幅されている  
⇒図面の間違いと判断される

